

## 三菱UFJ NASDAQオープン Aコース

追加型投信／海外／株式

第21期（決算日：2017年7月31日）

作成対象期間

（2016年8月2日～2017年7月31日）

| 第21期末（2017年7月31日） |          |
|-------------------|----------|
| 基準価額              | 6,992円   |
| 純資産総額             | 1,872百万円 |
| 騰落率               | 19.3%    |
| 分配金合計             | 0円       |

### 受益者のみなさまへ

投資家のみなさまにはご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

三菱UFJ NASDAQオープン Aコースは、このたび第21期の決算を行いました。

当ファンドは、NASDAQ登録株式を実質的な主要投資対象とし、新技術・新製品開発力、すぐれたビジネスモデル、マーケティング力を基に、長期的な成長が期待できる企業に着目し、選別投資を行ってまいりました。また、銘柄選定に際しましては、フリーキャッシュフロー面からの割安感をも考慮し、成長性を有しつつも、株価が相対的に割安な銘柄を主要投資対象としました。実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図る運用を行いました。

当期は、NASDAQ市況が上昇する中、一部インターネット関連株が好業績を背景に上昇したことなどがプラスに貢献し、基準価額は上昇しました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

引き続き、長期的な成長が期待できるNASDAQ登録企業に投資を行い、パフォーマンス向上に努めます。今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記〈照会先〉ホームページにアクセスし、「基準価額一覧」もしくは「ファンド検索」から当ファンドのファンド名称を選択することにより、ファンドの詳細ページにおいて運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで、お問い合わせください。

### 〈照会先〉

- ホームページアドレス  
<http://www.am.mufg.jp/>
- お客さま専用フリーダイヤル  
0120-151034  
（受付時間：営業日の午前9時～午後5時、土・日・休日・12月31日～1月3日を除く）



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号

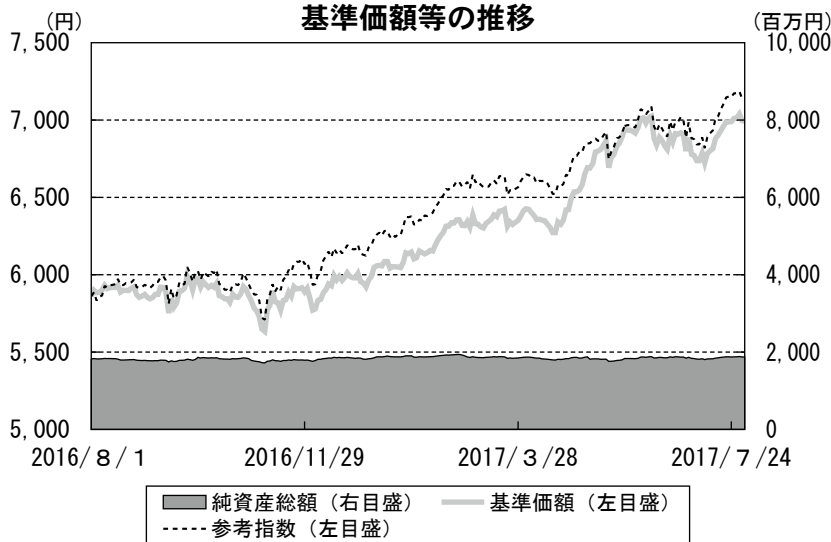
## 運用経過

当期中の基準価額等の推移について

(第21期：2016/8/2～2017/7/31)

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ19.3%の上昇となりました。



第21期首： 5,862円  
 第21期末： 6,992円  
 (既払分配金 0円)  
 騰落率： 19.3%

- ・参考指数は、NASDAQ総合指数(円ヘッジベース)です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。
- ・参考指数は、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

## 基準価額の主な変動要因

上昇要因

個別銘柄の株価が上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。

## 1万口当たりの費用明細

(2016年8月2日～2017年7月31日)

| 項目                   | 当期   |         | 項目の概要   |
|----------------------|------|---------|---|
|                      | 金額   | 比率      |   |
| (a) 信託報酬             | 102円 | 1.638%  | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×<br>(期中の日数÷年間日数)                         |
| (投信会社)               | (48) | (0.776) | ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価                        |
| (販売会社)               | (47) | (0.754) | 交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価                              |
| (受託会社)               | (7)  | (0.108) | ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価                                |
| (b) 売買委託手数料          | 12   | 0.195   | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数<br>有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料 |
| (株式)                 | (12) | (0.191) |   |
| (投資信託証券)             | (0)  | (0.004) |   |
| (c) 有価証券取引税          | 0    | 0.002   | (c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数<br>有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金       |
| (株式)                 | (0)  | (0.002) |   |
| (投資信託証券)             | (0)  | (0.000) |   |
| (d) その他費用            | 1    | 0.020   | (d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数                                     |
| (保管費用)               | (1)  | (0.015) | 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用                                   |
| (監査費用)               | (0)  | (0.003) | ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用                                       |
| (その他)                | (0)  | (0.001) | 信託事務の処理等に要するその他諸費用  |
| 合計                   | 115  | 1.855   |   |
| 期中の平均基準価額は、6,231円です。 |      |         |   |

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

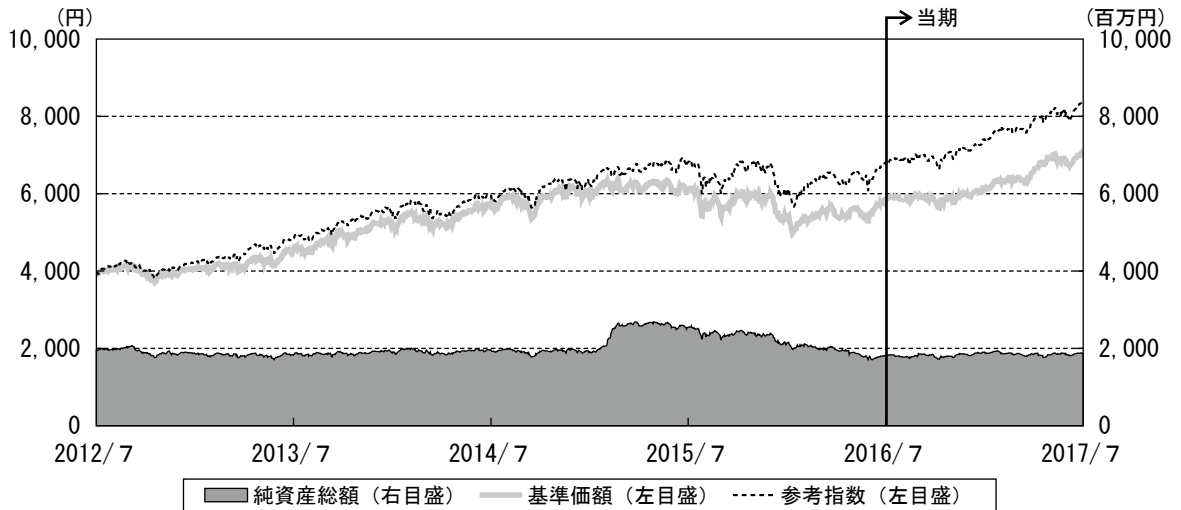
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2012年7月31日～2017年7月31日)



- ・参考指数は、2012年7月31日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。
- ・海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

最近5年間の年間騰落率

|                   | 2012/7/31<br>期初 | 2013/7/31<br>決算日 | 2014/7/31<br>決算日 | 2015/7/31<br>決算日 | 2016/8/1<br>決算日 | 2017/7/31<br>決算日 |
|-------------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|-----------------|------------------|
| 基準価額 (円)          | 3,960           | 4,540            | 5,740            | 6,114            | 5,862           | 6,992            |
| 期間分配金合計 (税込み) (円) | —               | 0                | 0                | 0                | 0               | 0                |
| 基準価額騰落率           | —               | 14.6%            | 26.4%            | 6.5%             | -4.1%           | 19.3%            |
| 参考指数騰落率           | —               | 22.4%            | 23.1%            | 14.4%            | -0.2%           | 21.7%            |
| 純資産総額 (百万円)       | 1,967           | 1,836            | 1,963            | 2,550            | 1,821           | 1,872            |

参考指数は、NASDAQ総合指数 (円ヘッジベース) です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

## 投資環境について

(第21期：2016/8/2～2017/7/31)

## ◎NASDAQ株式市況

- ・2016年8月以降、雇用、住宅、小売関連の経済指標が概ね底堅いものとなったことに加え、企業業績も底打ち傾向となったことから、市況の下値は堅いものとなりました。その一方で、大統領選挙を前にしての利益確定と思われる売りもあり、市況の上値もまた重いものとなりました。業種別では、選挙後の薬価政策を巡る不透明感から、バイオ関連株が値を下げました。
- ・11月上旬の大統領選挙において、共和党のトランプ候補が当選し、議会選挙は上下院ともに共和党が過半数を占めたことを受け、減税、規制緩和、インフラ投資拡大などへの期待が高まり、市況は上昇することとなりました。
- ・2017年3月以降は、トランプ大統領の政治手腕への疑念から、各種施策の早期実現への期待は剥落することとなりました。しかしながら、好調に推移する企業業績、また米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げのペースも景気動向を充分配慮したものとなるとの見通しが広がったことを背景に上昇基調が続きました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

## &lt;三菱UFJ NASDAQオープン Aコース&gt;

- ・当ファンドは、NASDAQマザーファンド受益証券を通じて、NASDAQ登録株式（REIT（不動産投資信託証券）含む）に投資しました。また、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図る運用を行いました。為替ヘッジを行ったため、為替市況の変動が基準価額に与える影響は限定的となりました。
- ・その結果、基準価額は期首に比べ19.3%上昇しました。

## &lt;NASDAQマザーファンド&gt;

基準価額は期首に比べ32.3%の上昇となりました。

- ・NASDAQ登録株式を主要投資対象とし、値上がり益の獲得をめざして運用を行いました。インターネット、バイオ・テクノロジー、消費などの成長産業に注目し、特に有望と思われる企業に選別投資を行いました。銘柄選定にあたっては、フリーキャッシュフロー面からの割安感にも着目しました。
- ・銘柄数は、期首時点においては、規模を生かせる大手企業を投資の中心とし、30銘柄としていました。
- ・当期においては、各業種において個別企業調査を進める中、徐々に投資対象銘柄を拡大し、期末時点の組入銘柄は41銘柄となりました。

以上の結果、NASDAQ市況が上昇する中、一部インターネット関連株が好業績を背景に上昇したことや為替が対円で上昇したことなどから、基準価額は上昇しました。

パフォーマンスに影響を与えた主な銘柄は以下の通りです。

(プラス要因)

◎銘柄

- ・「AMAZON.COM INC」：従来よりの主力事業であるオンライン小売業が順調に拡大することに加え、クラウド・サービスのAWS（アマゾン・ウェブ・サービス）などの事業も収益に貢献するとの見通しから、期首より保有しました。収益が期待通り順調に拡大し、業績に貢献、株価が上昇しました。
- ・「APPLE INC」：2017年秋に発売予定の新型iPhoneへの期待、また高価格帯製品の好調な売上予想の下、期中に組み入れを引き上げました。期待通り、業績が拡大し、株価の上昇につながりました。

(マイナス要因)

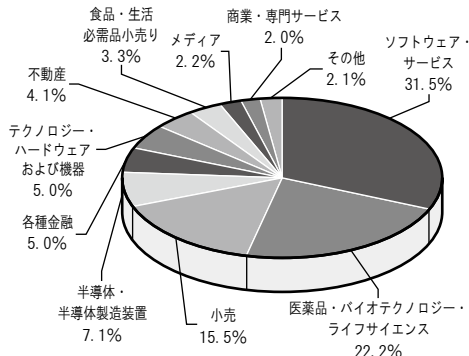
◎銘柄

- ・「O'REILLY AUTOMOTIVE INC」：自動車買い替えサイクルの長期化による修理、部品への需要増大、また参入障壁の高さなどを評価し、組み入れを行いました。既存店売上高が、会社予想を下回るなど、不振なものとなり、株価が下落しました。期中に全売却を行い、より有望な銘柄へ資金を振り向けました。
- ・「SHIRE PLC-ADR」：難治性の希少疾病の分野に強みを持つことなどを評価し、期首より保有しました。買収実施後の事業統合への不透明感、主力薬の競合懸念などが背景と思われる売りから、株価が下落しました。株価下落により、株価水準面での割安感が高まったことから継続保有しています。

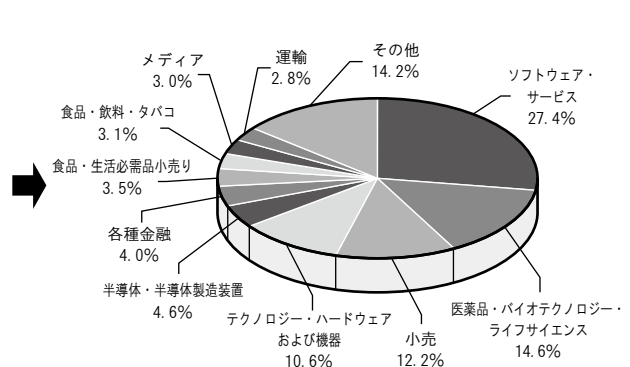
(ご参考)

組入上位10業種

期首 (2016年8月1日)



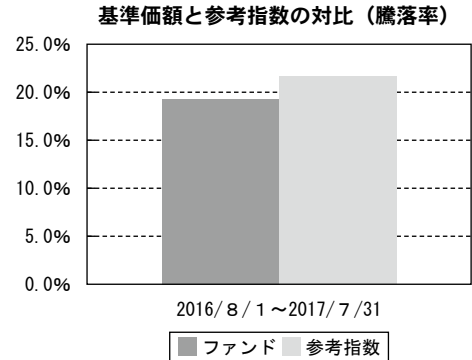
期末 (2017年7月31日)



(注) 比率は現物株式評価額に対する割合です。  
 (注) REITを含めて表示しています。

### 当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数はNASDAQ総合指数（円ヘッジベース）です。



### 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】 （単位：円、1万口当たり、税込み）

| 項目        | 第21期                 |
|-----------|----------------------|
|           | 2016年8月2日～2017年7月31日 |
| 当期分配金     | —                    |
| （対基準価額比率） | —%                   |
| 当期の収益     | —                    |
| 当期の収益以外   | —                    |
| 翌期繰越分配対象額 | 2,036                |

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### <三菱UFJ NASDAQオープン Aコース>

#### ◎今後の運用方針

- ・NASDAQマザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。
- ・実質組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減に努めます。

### <NASDAQマザーファンド>

#### ◎運用環境の見通し

- ・米国の景気指標は、インフレ関連の指標が弱含むなど、強弱入り混じったものとなっていますが、景気は緩やかなペースながらも依然として拡大基調にあると判断しています。企業業績も好調に推移しており、NASDAQ市況の下値リスク自体は小さいものと考えています。しかしながら、株価上昇のピッチが速かったこと、株価水準面での割高感も徐々に高まってきていること、さらには金融政策面ではFRBがバランスシート縮小に着手することなどを考えあわせると、より下値リスクに配慮した運用が必要となると考えられます。個別銘柄においては、株価水準において妥当感があり、収益伸長の余地が依然として大きい銘柄が上昇するなど、選別投資が進むと考えます。

#### ◎今後の運用方針

- ・NASDAQ市場には、インターネット、半導体、バイオなど、高い収益成長が期待される企業が存在しており、銘柄選定により、高い投資収益を得ることが可能と考えます。
- ・スマートフォン、タブレット・パソコンの普及によりインターネット関連企業は恩恵を受けます。オンライン商取引を行う企業は高成長を遂げています。ソーシャルネットワーク・サイトの運営企業も、モバイル経由のアクセス件数の増加により、確実に恩恵を受けつつあります。また、ゲノム技術を実用化することにより新薬開発件数が拡大、新たな収益拡大期を迎えつつあるバイオ企業にも引き続き注目しています。
- ・銘柄選定にあたっては、フリーキャッシュフロー面からの割安感などにも着目し、成長力のある銘柄に投資することに注力する方針です。



## お知らせ

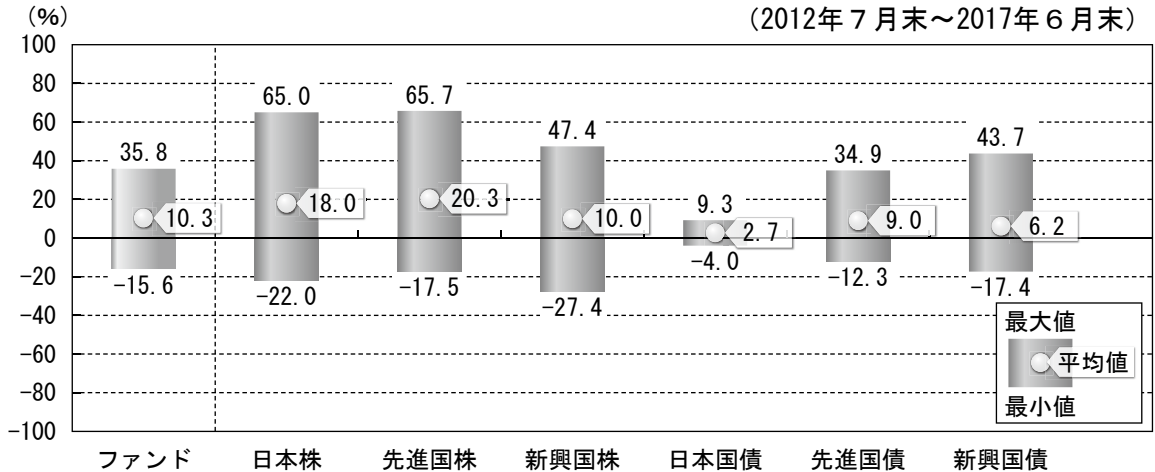
- ①信用リスクを適正に管理する方法を新たに定める（分散型に分類）ため、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載の変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。（2016年11月1日）
- ②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<http://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

## 当該投資信託の概要

|        |  |  |
|--------|--|--|
| 商品分類   | 追加型投信／海外／株式  |  |
| 信託期間   | 2021年7月30日まで（1996年8月1日設定）  |  |
| 運用方針   | マザーファンドを通じて、NASDAQ市場に登録されている株式に投資し、キャピタルゲインの積極的な獲得をめざします。組入銘柄につきましては、ボトムアップ・アプローチを基本として、個別銘柄のファンダメンタルを重視した銘柄選定を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。 |  |
| 主要投資対象 | 当ファンド  | NASDAQマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、当ファンドで直接投資することがあります。 |
|        | NASDAQマザーファンド  | NASDAQ登録株式を主要投資対象とします。                                 |
| 運用方法   | NASDAQ登録株式を実質的な主要投資対象とし、新技術・新製品開発力、すぐれたビジネスモデル、マーケティング力に着目し、長期的な成長が期待できる企業を選定し、キャピタルゲインの積極的な獲得をめざします。  |  |
| 分配方針   | 経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。  |  |

## ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2012年7月から2017年6月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

### ○各資産クラスの指数

- 日本株 : TOPIX (配当込み)
- 先進国株 : MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
- 新興国株 : MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
- 日本国債 : NOMURA-BPI (国債)
- 先進国債 : シティ世界国債インデックス (除く日本)
- 新興国債 : JPMorgan GBI-EM グローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ・全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

## 当該投資信託のデータ

### 当該投資信託の組入資産の内容

(2017年7月31日現在)

#### 組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

| ファンド名                     | 第21期末<br>2017年7月31日 |
|---------------------------|---------------------|
| N A S D A Q マ ザ ー フ ァ ン ド | 99.0%               |

・比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

#### 純資産等

| 項 目        | 第21期末<br>2017年7月31日 |
|------------|---------------------|
| 純資産総額      | 1,872,837,245円      |
| 受益権口数      | 2,678,644,287口      |
| 1万口当たり基準価額 | 6,992円              |

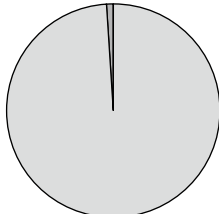
・当期中において  
 追加設定元本は 615,285,902円  
 同解約元本は 1,043,203,534円です。

#### 種別構成等

##### 【資産別配分】

コール・ローン等

1.0%

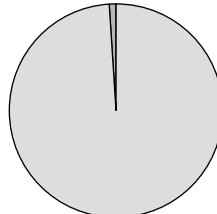


マザーファンド受益証券  
99.0%

##### 【国別配分】

その他

1.0%

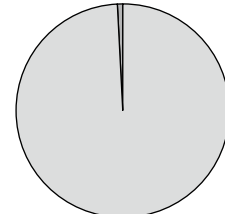


日本  
99.0%

##### 【通貨別配分】

その他

0.8%



円  
99.2%

・比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。  
 ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。  
 ・このファンドはマザーファンドを通じて実質的に保有する外貨建資産に対して、為替ヘッジを行っているため、【通貨別配分】においては、[実質外貨建資産-為替ヘッジ]で計算しています。

## 組入上位ファンドの概要

### NASDAQマザーファンド

(2017年7月31日現在)

#### 基準価額の推移



#### 組入上位10銘柄

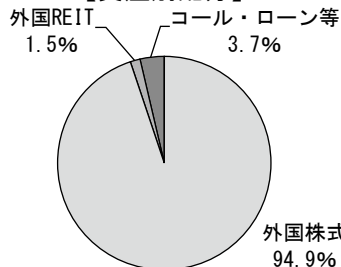
(組入銘柄数：41銘柄)

|    | 銘柄                    | 種類 | 国    | 業種/種別                  | 比率   |
|----|-----------------------|----|------|------------------------|------|
| 1  | MICROSOFT CORP        | 株式 | アメリカ | ソフトウェア・サービス            | 8.4% |
| 2  | ALPHABET INC-CL C     | 株式 | アメリカ | ソフトウェア・サービス            | 8.3% |
| 3  | APPLE INC             | 株式 | アメリカ | テクノロジー・ハードウェアおよび機器     | 8.3% |
| 4  | AMAZON.COM INC        | 株式 | アメリカ | 小売                     | 5.7% |
| 5  | FACEBOOK INC-A        | 株式 | アメリカ | ソフトウェア・サービス            | 5.0% |
| 6  | CME GROUP INC         | 株式 | アメリカ | 各種金融                   | 3.9% |
| 7  | COSTCO WHOLESALE CORP | 株式 | アメリカ | 食品・生活必需品小売り            | 3.4% |
| 8  | CELGENE CORP          | 株式 | アメリカ | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス | 3.3% |
| 9  | GILEAD SCIENCES INC   | 株式 | アメリカ | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス | 3.3% |
| 10 | APPLIED MATERIALS INC | 株式 | アメリカ | 半導体・半導体製造装置            | 2.9% |

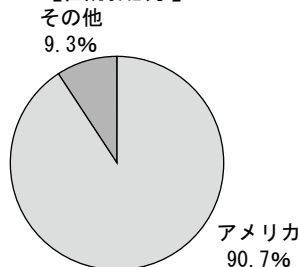
- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・REITを含めて表示しています。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

#### 種別構成等

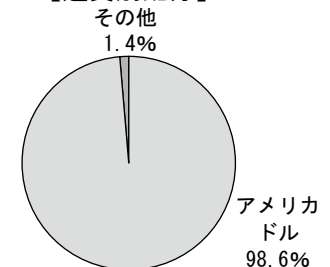
##### 【資産別配分】



##### 【国別配分】



##### 【通貨別配分】



- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含まず。

#### 1万口当たりの費用明細

(2016年8月2日～2017年7月31日)

| 項目          | 当期   |         |
|-------------|------|---------|
|             | 金額   | 比率      |
| (a) 売買委託手数料 | 52円  | 0.194%  |
| (株式)        | (51) | (0.191) |
| (投資信託証券)    | (1)  | (0.004) |
| (b) 有価証券取引税 | 1    | 0.002   |
| (株式)        | (0)  | (0.002) |
| (投資信託証券)    | (0)  | (0.000) |
| (c) その他費用   | 4    | 0.016   |
| (保管費用)      | (4)  | (0.015) |
| (その他)       | (0)  | (0.001) |
| 合計          | 57   | 0.212   |

期中の平均基準価額は、26,762円です。

(注) 1万口当たりの費用明細は、組入れファンドの直近の決算期のもので、費用項目の概要については、2ページの注記をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

968068

## 指数に関して

### ○ファンドの参考指数である『NASDAQ総合指数（円ヘッジベース）』について

NASDAQ総合指数とは、NASDAQ上場全銘柄の時価総額加重平均により算出され、1971年2月5日を基準値100としています。NASDAQ総合指数（円ヘッジベース）は、NASDAQ総合指数をもとに、委託会社が計算したものです。

### ○「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

#### TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

#### MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

#### MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

#### NOMURA-BPI（国債）

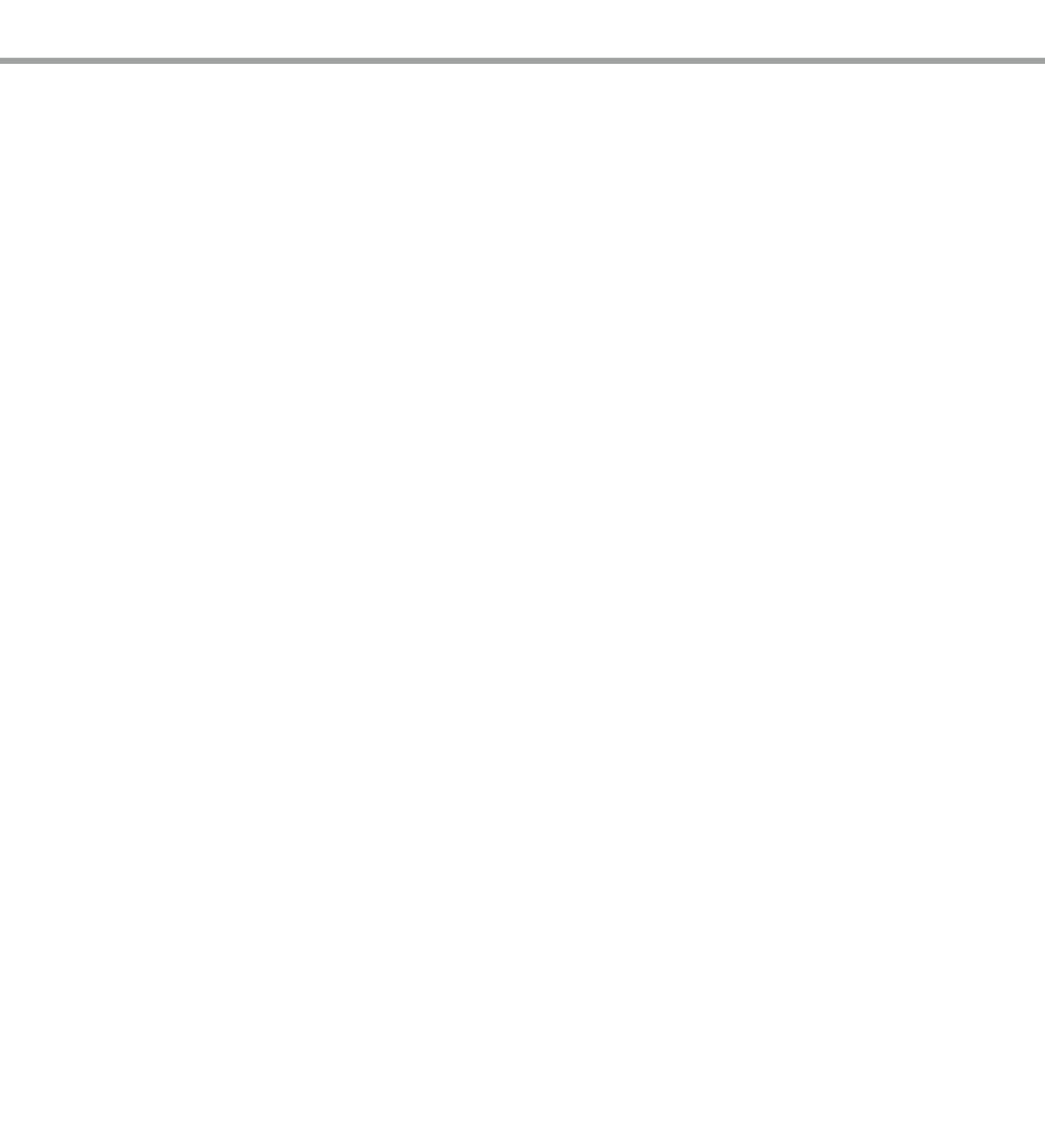
NOMURA-BPIとは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（国債）はそのサブインデックスです。わが国の国債で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI（国債）は野村證券株式会社の知的財産であり、運用成果等に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。

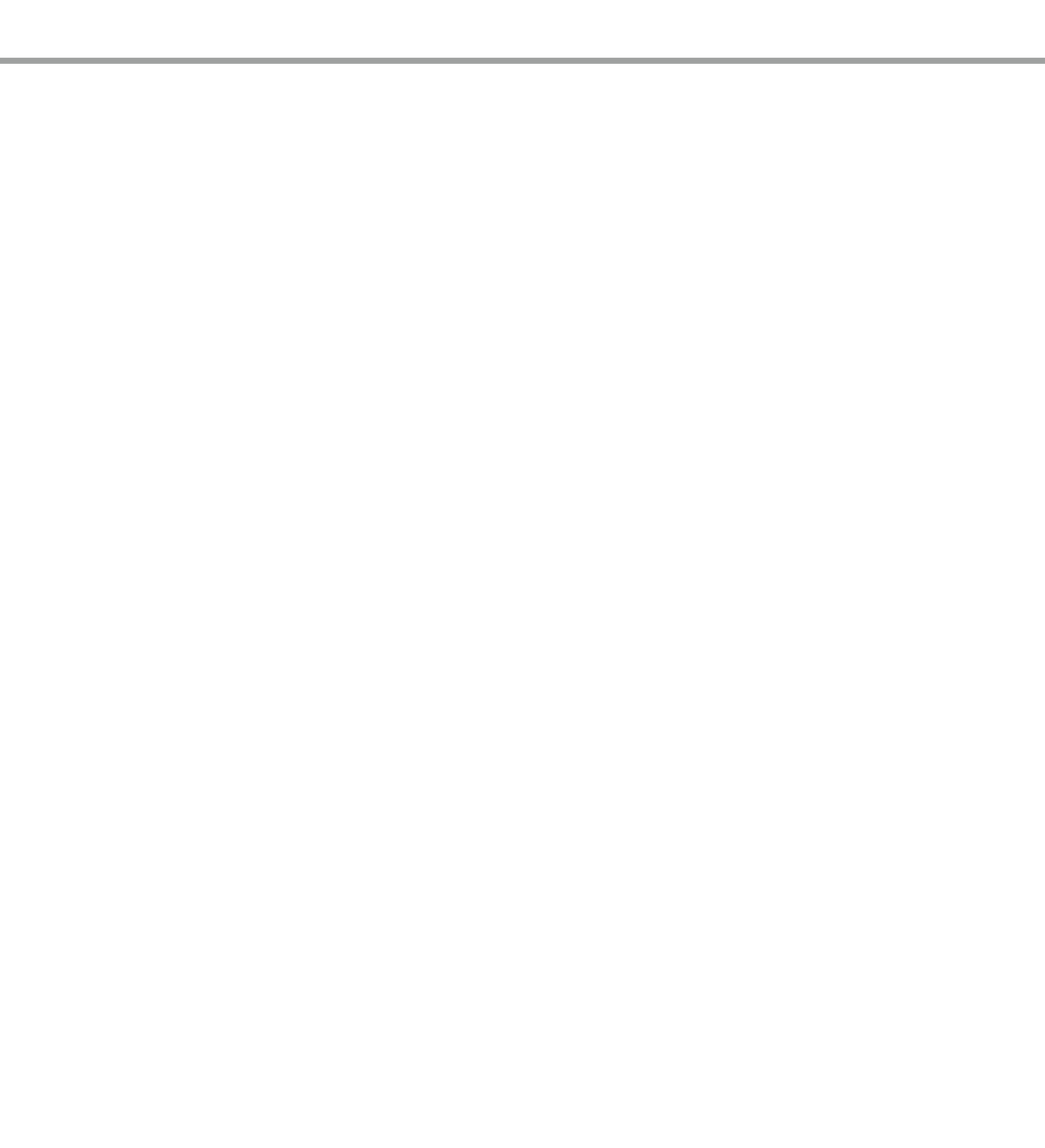
#### シティ世界国債インデックス（除く日本）

シティ世界国債インデックス（除く日本）は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

#### JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。







三菱UFJ国際投信